

## 私の将来を決めてくれた「Butter-fly」

タイ サンダー

私は小学生の頃、両親はDVDの販売をしていました。お客さんがお店に興味を持ってくれるよう、お店の正面にテレビを置いて、人気の映画や歌を流していました。幼い私はよくお店で過ごしていました。そんなある日、テレビからリズムの良い歌が聞こえ、一瞬でその歌もその知らない言葉も好きになりました。その後、それは日本のアニメ「デジモン」の主題歌で「Butter-fly」という歌だと知りました。この歌をきっかけに「大きくなったら、日本語を勉強するぞ!」と決意しました。

私は、日本のアニメと一緒に育ち、高校を卒業後憧れていた日本語の勉強を始めました。日本の言葉はとても豊かで、相手の身分によって、言葉遣いが変わっていくところがとても面白いと思っています。日本語の学習につれ、日本の文化、日本人の考え方も学びました。日本への憧れは高まり、おととしの9月に、私は留学生として各務原市に来ました。

最初、「かかみがはら」市を読めなかった私ですが、町の綺麗さに驚き、風情がある町並みに吸い込まれました。満開の桜木が境川の両岸にずらりと並んでいます。すがすがしい空気の中に甘い匂いが漂っています。地域交流の一環として、子ども教育を学んでいる大学生と交流を行い、日本人の学生と初めて触れ合いました。学生たちの温かさに包まれ、日本語が上手に話せない私たち留学生と一緒に日本の伝統ゲームで遊んだり、日本語のクイズを答えたりして、日本の文化と触れ合う機会になりました。その後、先生の紹介で初めて学びの森を訪れた時、建物が多いた町の中に緑があふれる大きな公園が存在し、今いる世界と一枚壁があり異空間に自分が存在しているような気持ちになりました。勉強とアルバイトを両立させながら充実した大学生活を送っている中、時々「学びの森」へ行き、私のパワースポットとして息抜きの場所になっています。

父の看病をきっかけに、現在私は大学で介護について勉強しています。介護の学びを深めるにつれて、「介護」は「人のお世話をする事」ではなく、「人を気にかける事」だと理解するようになりました。日本人の優しさや言葉も分かるようになり、今では「Butter-fly」の歌詞をこのように理解しています。『私たちの人生には望みや可能性が満ち溢れているけれども、自分の目標に向かって頑張っている途中で、思い通りにならず、心が折れて「何もない世の中」に変わってしまうかもしれません。夢や希望に向かって飛ぶのをためらってしまうかもしれません。それでも、繊細な羽を持つチョウが飛べるように、私たちも羽ばたこう!』

私は、介護福祉士を目指し、卒業後、各務原市の社会福祉法人に就職つもりです。これから先の未来で思い通りにならない、心が折れてしまうこともあるかもしれません。夢や希望に向かって、はばたく事を諦めてしまうこともあるかもしれません。しかし、どんなに落ち込んでも「Butter-fly」の歌を聴き、学びの森へ行って心を落ち着かせ、立派な介護福祉士として、頼りにされる人材になりたいと思います。そして、大好きな各務原市で羽ばたく「Butter-fly」になりたいです。